

Table with columns for 事務事業名, コート1, コート2, 課, 環境課, 所属班, クリーンセンター, 電話番号, 62-0955, 内線, なし, 基本方針, 2, 快適でうるおいのあるまちづくり, 施策, 2, 循環型社会の構築, 施策の展開, 1, 廃棄物処理体制の充実, 基本事業, 88, ごみの収集・処理体制の充実, 予算科目, 会計, 一般会計, 04, 02, 02, 根拠法令, 旭市廃棄物の処理及び清掃に関する条例

1 現状把握(Do)

(1) 事業概要

Table with 2 columns: ① 事業期間, ② 事業の内容. Includes checkboxes for 単年度繰返, 昭和43年度~, 開始年度不詳, 期間限定複数年度, 平成年度~, 平成年度まで, 全休像を記述. Content describes waste collection and processing in Asahi City.

(2) トータルコスト

Table with 2 columns: ① 事業費の内訳(費目等), ② 延べ業務時間の内訳. Includes sub-tables for 事業費の内訳 (国庫支出金, 都道府県支出金, 地方債, その他, 一般財源) and 延べ業務時間の内訳 (環境課, クリーンセンター職員, 正規職員合計, 延べ業務時間合計).

(3) 事務事業の手段・目的・上位目的及び対応する指標

Large table mapping 手段 (Main activities), 目的 (Objectives), and 上位目的 (Higher-level objectives) to ⑤ 活動指標名, ⑥ 対象指標名, ⑦ 成果指標名, and ⑧ 上位成果指標名. Includes metrics like 23年度実績, 24年度計画, 人口, 販売店舗数, ごみ袋販売枚数, etc.

(4) 事務事業の環境変化、住民意見等

Table with 3 columns: ① 開始したきっかけは何か? どんな経緯で始まったか?, ② 事務事業を取り巻く状況(対象者や根拠法令等)はどう変化しているか? 開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったか?, ③ この事務事業に対して関係者(住民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が寄せられているか?

| | | | | | |
|-------|-----------|----|-----|----|----------|
| 事務事業名 | 塵芥処理施設運営費 | 課名 | 環境課 | 班名 | クリーンセンター |
|-------|-----------|----|-----|----|----------|

2 評価(Check1)担当者による事後評価

| | | |
|-----------------|---|---|
| 目的 妥当性 評価 | ① 政策体系との整合性 この事務事業の目的は市の政策体系に結びつか？意図することが上位目的に結びついているか？ | <input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 結びついている ⇒【理由】 一般家庭等のごみを、市民等がごみステーションの利用や直接搬入を通じて、適正に排出できるようにすることにより、生活環境の保全に結びついている。 |
| | ② 対象・意図の妥当性 対象を限定・追加すべきか？意図を限定・拡充すべきか？ | <input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 適切である ⇒【理由】 対象者を、ごみ(一般廃棄物)を排出する市民や市内の一般廃棄物排出事業者及びごみ袋販売店と限定し、意図については対象者が、ごみを適正に排出できる状況とする。 |
| | ③ 行政関与の妥当性 なぜこの事業を市が行わなければならないのか？税金を投入して実施すべきか？ | <input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 妥当である ⇒【理由】 ごみ(一般廃棄物)の処理は、市町村の責務であるため。 |
| 有効性 評価 | ④ 成果の現状水準 あるべき水準や目標に達しているか？近隣市や類似団体と比較してどうか？ | <input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 妥当である ⇒【理由】 銚子市・匝瑳市(匝瑳市ほか二町環境衛生組合)と比較し、収集・処理業務は同水準となっている。 |
| | ⑤ 成果の向上余地 次年度以降の成果向上が期待できるか？事務事業を取り巻く環境変化等を考慮するかどうか？ | <input type="checkbox"/> 活動量を増やせば成果は向上する ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 活動量を増やさなくても、やり方を工夫することで成果は向上する ⇒【理由】 <input type="checkbox"/> 活動量を増やしたり、活動を工夫したりしても、今以上成果は向上しない ⇒【理由】 家庭ごみ等、排出する環境(ステーション設置、ごみ袋販売、直接搬入)を整えることにより、ポイ捨てや野焼きを防止し生活環境保全に貢献する。尚、ステーション設置、ポイ捨て、野焼き防止については、他事業であるため、連携して環境保全の成果を向上させる。 |
| | ⑥ 類似事業との統廃合・連携の可能性 目的を達成するには、この事務事業の他(民間・国県を含む)に方法があるか？ ↓ 他に手段がある場合 (1)具体的にはどのような事務事業か？ (2)類似事業との統廃合ができるか？類似事業との連携を図ることにより、成果の向上が期待できるか？ | <input type="checkbox"/> 他に手段がある (1) 事務事業名：() <input type="checkbox"/> 統廃合ができる ⇒【理由】 <input type="checkbox"/> 連携ができる ⇒【理由】 <input type="checkbox"/> 既に統廃合・連携している ⇒【理由】 <input type="checkbox"/> 統廃合・連携ができない ⇒【理由】 他に類似の事業はありません。 |
| 効率性 評価 | ⑦ 事業費の削減余地(表面トータルコストの事業費部分) 事業費を削減できないか？(経費の精査、過剰仕様の適正化、回数削減、住民の協力、アウトソーシングなど) | <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由】 <input type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由】 運転業務等の見直しを行い、経費(電気料金・燃料費)の削減に取り組む。 |
| | ⑧ 人件費の削減余地(表面トータルコストの人件費部分) やり方の工夫(業務プロセスの改善など)や臨時職員の活用・委託により、正規職員の延べ業務時間を削減できないか？ | <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由】 <input type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由】 業務の体制を見直し、経費の削減に取り組む。 |
| 公平性 評価 | ⑨ 受益機会・費用負担の適正化余地 事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか？受益者負担が公平・公正になっているか？ | <input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である ⇒【理由】 旭市内の市民等を対象に事業を行っており、ごみを排出する市民等(受益者)は、ごみ処理手数料により費用の一部を負担しているため、受益機会・費用負担は公平・公正と思われる。 |

3 評価(Check2)担当課長による評価結果と総括

| | |
|--|---|
| (1) 1次評価者としての評価結果 ① 目的妥当性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ② 有効性 <input type="checkbox"/> 適切 <input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地あり ③ 効率性 <input type="checkbox"/> 適切 <input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地あり ④ 公平性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり | (2) 全体総括(振り返り、反省点) 当該施設の設置及び運営は、市民サービスの面から必要不可欠な事業であり、今後も適切な維持管理に努めるとともに、コスト意識を常に持ち、維持管理経費等の削減に取り組むこととする。 |
|--|---|

4 今後の方向性(事務事業担当課案)(Plan)

| | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
|---|--|----|----|-----|--|--|----|----|----|----|----|--|--|--|----|---|--|--|----|--|--|--|
| (1) 今後の事業の方向性(複数選択可) ※2~3年後を目処にした方向性 <input type="checkbox"/> 目的再設定 <input type="checkbox"/> 行政関与の見直し <input checked="" type="checkbox"/> 事業のやり方改善による成果向上 <input type="checkbox"/> 事業統廃合・連携(関連事業：) <input checked="" type="checkbox"/> 事業のやり方改善による事業費削減 <input checked="" type="checkbox"/> 事業のやり方改善による延べ業務時間削減 <input type="checkbox"/> 受益機会の適正化 <input type="checkbox"/> 費用負担の適正化 <input type="checkbox"/> 廃止・休止 | (3) 改革・改善による期待成果 (廃止・休止の場合は記入不要) <table border="1"> <tr> <td colspan="2" rowspan="2"></td> <td colspan="3">コスト</td> </tr> <tr> <td>削減</td> <td>維持</td> <td>増加</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">成果</td> <td>向上</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td>○</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>低下</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table> | | | コスト | | | 削減 | 維持 | 増加 | 成果 | 向上 | | | | 維持 | ○ | | | 低下 | | | |
| | | | | コスト | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | 削減 | 維持 | 増加 | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 成果 | 向上 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | 維持 | ○ | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | 低下 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| (2) 改革改善案について ※いつまでに、なにを、どうするのか？ ①ごみ処理量(可燃ごみ含む)が減少傾向にあるため、焼却炉(可燃ごみ処理)の運転稼働日を計画的減少させ電気料金や燃料費(重油)の削減を図る。(本年度より取り組んでいる。) ② ③ | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| (4) 改革、改善を実現する上で解決すべき課題(壁)とその解決策 ①ごみ処理量(可燃ごみ含む)は時期に応じて増減があり、又、焼却炉(可燃ごみ処理)の故障が発生する場合もあることから、可燃ごみについては、適正な焼却を維持するため、受け入れ量の把握に課題がある。 この課題の解決策として、可燃ごみの受け入れ量の予測に努め、又、焼却炉の故障など突発的な要因には柔軟な運転体制により解決する。 ② | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |